

## 食品安全委員会（第530回会合）議事概要

日 時：平成26年9月16日（火） 14：00～16：01  
場 所：食品安全委員会大会議室  
出席者：熊谷委員長ほか5名出席  
傍聴者：報道4名、行政機関14名、一般6名

### 議事概要

#### （1）食品安全基本法第24条の規定に基づく委員会の意見の聴取に関するリスク管理機関からの説明について

##### ・農薬 5品目（[5]はポジティブリスト制度関連）

- |               |                |
|---------------|----------------|
| [1] ジフェノコナゾール | [2] フルオキサストロビン |
| [3] フルキサピロキサド | [4] メトラフェノン    |
| [5] ピラゾリネート   |                |

→厚生労働省から説明。

本件については、農薬専門調査会において審議することとなった。

##### ・動物用医薬品 3品目

- |                                 |             |
|---------------------------------|-------------|
| [1] ロメフロキサシン                    | [2] ケトプロフェン |
| [3] ケトプロフェンを有効成分とする豚の注射剤（ディニタル） |             |

→厚生労働省及び農林水産省から説明。

本件のうち、「ケトプロフェン」及び「ケトプロフェンを有効成分とする豚の注射剤（ディニタル）」については、動物用医薬品専門調査会において調査審議することとなった。また、「ロメフロキサシン」については、肥料・飼料等専門調査会において審議することとなった。

##### ・微生物・ウイルス 1案件

##### 豚の食肉の生食に係る規格基準の設定について

→厚生労働省から説明。

本件については、微生物・ウイルス専門調査会において審議することとなった。

##### ・プリオン 1案件

##### 牛肉骨粉等の養魚用飼料としての利用について

→農林水産省から説明。

本件については、プリオン専門調査会において審議することとなった。

- ・ 遺伝子組換え食品等 1品目  
ステアリドン酸産生ダイズMON87769系統及び除草剤グリホサート耐性ダイズMON89788系統を掛け合わせた品種

→厚生労働省から説明。

本件については、遺伝子組換え食品等専門調査会において審議することとなった。

(2) 遺伝子組換え食品等専門調査会における審議結果について

- ・ 「*Bacillus subtilis* MDT121株を利用して生産された $\alpha$ -アミラーゼ」に関する審議結果の報告と意見・情報の募集について

→担当委員の山添委員及び事務局から説明。

取りまとめられた評価書(案)については、意見・情報の募集手続に入ることが了承され、得られた意見・情報の整理、回答(案)の作成及び評価書(案)への反映を遺伝子組換え食品等専門調査会に依頼することとなった。

(3) 平成26年度食品健康影響評価技術研究の3次公募採択課題(案)について

→調査・研究企画会議座長の佐藤委員及び事務局から説明。

平成26年度食品健康影響評価技術研究の3次公募における採択課題については、案のとおり決定された。

(4) 食品安全確保総合調査及び食品健康影響評価技術研究の優先実施課題(平成27年度)(案)について

→調査・研究企画会議座長の佐藤委員及び事務局から説明。

食品安全確保総合調査及び食品健康影響評価技術研究の優先実施課題(平成27年度)については、案のとおり決定された。

(5) 食品安全関係情報(8月16日～8月29日収集分)について

→事務局より報告。

フランス衛生監視研究所(InVS)が8月28日に「2014年シーズン中のキノコ摂取に関連する食中毒、2014年8月17日時点の状況」と題し、2014年のキノコによる食中毒についての中間報告を発表した概要等について報告。